



大阪ガス住宅設備

シェ・ターブル用コンロユニット

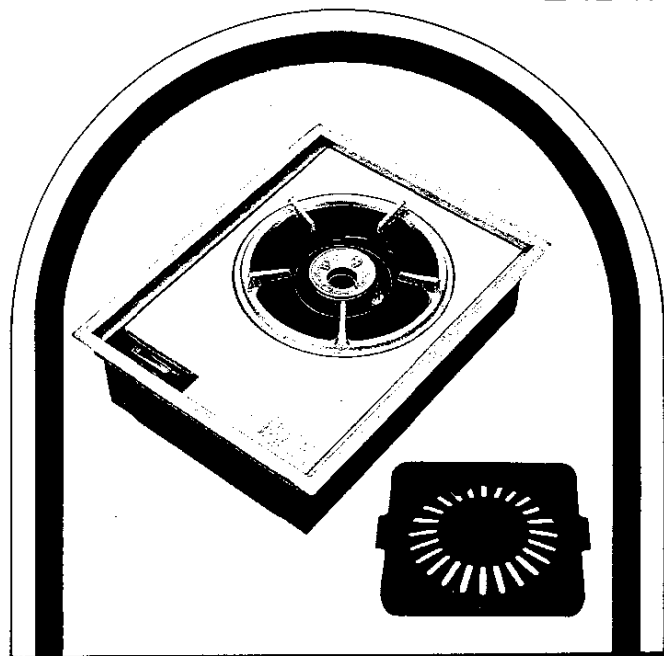
Cooking & Dining ガスクッキングテーブル

取扱説明書

12-625型

保証書付

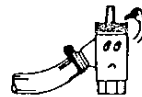
型式名 KT-77



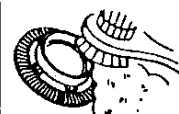
ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
あとは必ず
カッチリと



ガス器具を
お使いになっ
たあとは必ず
元栓も開める
習慣を



毎日使う
ガスコンロの
バーナーなど器具も
ときどきお手入れを..



ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを

本社・支社 所在地および電話番号

本	社	〒541	大阪市東区平野町 5-2-1	支	社	〒06 (202)	2221		
特	営業センター	〒550	大阪市西区千代橋 3-2-95	支	社	〒06 (582)	0471		
南	支	社	〒557	大阪市西成区玉出東 2-9-41	支	社	〒06 (652)	0091	
北	支	社	〒532	大阪市淀川区十三本町 3-6-35	支	社	〒06 (301)	1251	
堺	支	社	〒590	堺市住吉橋町 2-2-19	堺	支	社	0722(38)	1131
堺	支	社	〒569	堺市東の里町 39-6	高	支	支	0726(71)	0361
北	支	社	〒662	西宮市利上町 4-11	高	支	支	0798(26)	3101
阪	支	支	〒578	東大阪市福東 2-3-17	高	支	支	0729(82)	1131
東	支	支	〒573	枚方市西田宮町 16-17	高	支	支	0720(41)	1251
神	支	支	〒650	神戸市中央区相生町 5-13-10	高	支	支	078(576)	5231
京	支	支	〒604	京都市中央区烏丸通御池角	高	支	支	075(231)	8151
和	支	支	〒631	奈良市学園北 2-4-1	高	支	支	0742(44)	1111
歌	支	支	〒640	和歌山市本町 1-1-1	高	支	支	0734(31)	2481
姫	支	支	〒670	姫路市神原町 4-8	高	支	支	0792(85)	2221
路	支	支	〒675	加古川市加古川町雲津 29-1	高	支	支	0794(21)	1801
播	支	支	〒668	豊岡市三坂町 6-57	高	支	支	07862(3)	2221
磨	支	支	〒525	姫路市船分町字荒地 690-1	高	支	支	0775(82)	5311
彦	支	支	〒522	彦根市大毛町 12-11	高	支	支	0749(22)	3131
(長	支	支	〒526	彦根市南袋町 3-4	高	支	支	0749(82)	7171
浜	支	支	〒590	堺市砂辺町 1-3-1	高	支	支	0722(27)	1761~2
南	支	支	〒659	堺市打出町 6-28	高	支	支	0797(31)	3474
大阪	支	支			高	支	支		
住	支	支			高	支	支		
任	支	支			高	支	支		
股	支	支			高	支	支		
業	支	支			高	支	支		
所	支	支			高	支	支		

大阪ガス住宅設備株式会社

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガス住宅設備のシェ・ターブル用
コンロユニットをお求めいただき、ありがとうございます
でした。この取扱説明書をよくお読みになって充
分にご活用いただき、いつまでもご愛用ください。
なお別添の保証書とともに、この（取扱説明書）を
大切に保存してください。

も、く、じ

- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 故障、異常の見分け方と処置方法..... 6
- 各部の名称・仕様..... 7
- 器具の設置と使用手順..... 9
- 日常の点検・手入れ..... 13
- 使用時のご注意..... 16
- アフターサービスのお申し込み..... 17

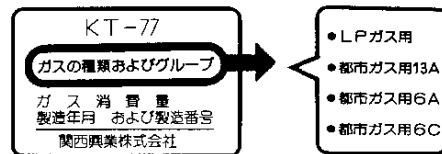
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具柱の左側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが
一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)

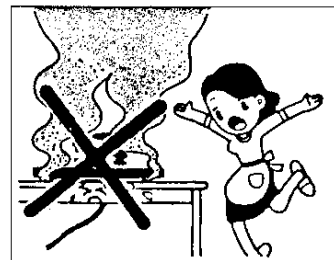


- ・ ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- ・ 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

市販の補助用具使用ならびに用途についてのご注意

- 専用の部品以外は使用しないでください。
排気口をおおうような使用方法は、不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。

- 調理以外の用途には使用しないでください。
過熱・異常燃焼などによる焼損、
火災などの危険があります。

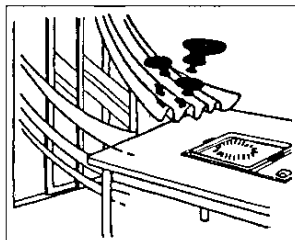


特に注意していただきたいこと ②

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用場所についてのご注意

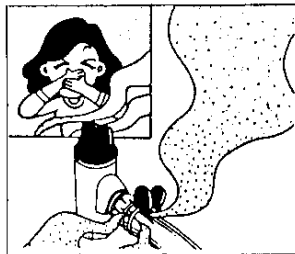
- 強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
ほのおが風で吹き消えることがあります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



使用上のご注意

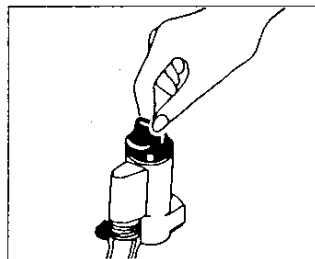
ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを買い、時々とりかえてください。(おとりかえの目安は約3年です)
ゴム管が古くなりますと、元栓や器具のゴム管口から抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。



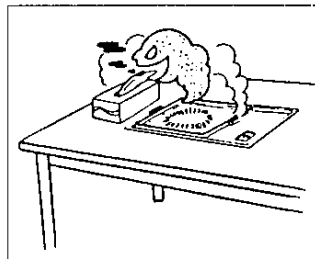
特に注意していただきたいこと ③

- 使用中にはときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元栓をしめてください。
- 使用後は必ず器具栓を閉じ、消火したことを確かめてください。



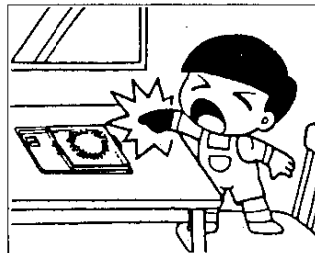
火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。



やけどのご注意

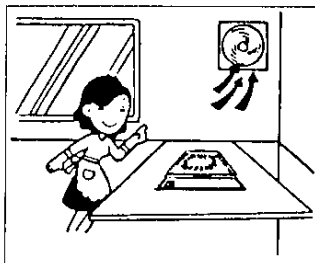
- ご使用中および使用直後は、器具とその周辺は熱くなりますので、手を触れたり移動させたりしないでください。
特に小さなお子様にはご注意ください。
- ご使用中にジーンズ汗プレートおよびごとくを取扱うときは、特にご注意ください。
ぬれふきんなどで持つと蒸気が出て、やけどするおそれがあります。



特に注意していただきたいこと ④

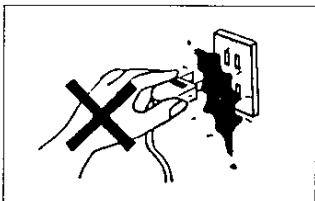
換気のご注意

- ご使用中はときどき換気扇を回すなど換気にご注意ください。
ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップに連絡してください。



ご注意

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどで火や火花から引火し爆発事故を起こすことがあります。

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。（詳しくは14ページをお読みください。）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

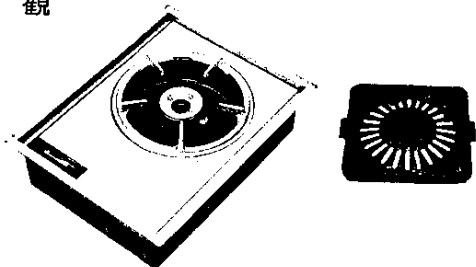
異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、ガス元栓閉止）して十分な点検をお願いします。

原因	現象										処置方法	参照ページ
	器具栓つまみを開け忘れた	点火しない・点火しにくい	着火(火移)しない	ほのおが安定しない	黄炎で燃える	消火しない	異常な音をだして燃える	使用中に消火した	ガスのおいがする	器具栓つまみの操作が重い		
ガス元栓の開け忘れ	○										ガス元栓を開ける	10
ゴム管が折れている	○							○			ゴム管の折れをなおす	9
ゴム管内に空気が残っている	○	○	○					○			点火操作を繰り返す	13
器具栓つまみの開き不十分	○	○									器具栓つまみを全開にする	13
ノズルの詰まり	○	○		○				○			点検・修理を依頼する	11
空気取り口が詰まっている					○						点検・修理を依頼する	10
バーナーの覆食・炎口の詰まり	○	○	○	○			○				バーナー・炎口を掃除する	14
器具栓つまみの故障	○	○				○				○	点検・修理を依頼する	10
ゴム管のひび割れ・穴あき								○			ゴム管を交換する	9
ゴム管の接続不足								○			ゴム管の接続を確実にする	9
ガス元栓の損傷	○									○	点検・修理を依頼する	10
炎口に水がかかっている	○	○	○								水分をふきとる	14
ガスがノズル部分で燃えている						○		○			一度ガスを止め再点火する	10
煮こぼれ消火センサーが作動	○									○	煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法	11
煮こぼれ消火センサーの故障	○									○	点検・修理を依頼する	11
器具栓フィルターがつまり	○	○								○	点検・修理を依頼する	11

各部の名称・仕様

●外 観



●付属品

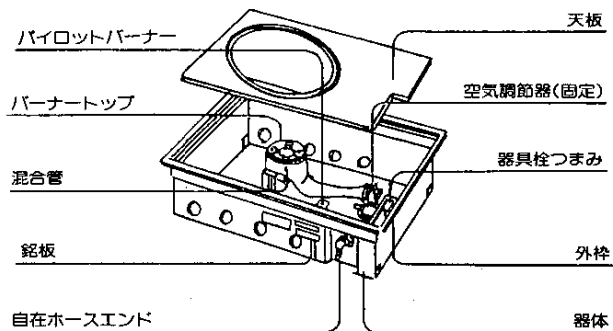


水入れ皿

外枠固定板
(4ヶ)

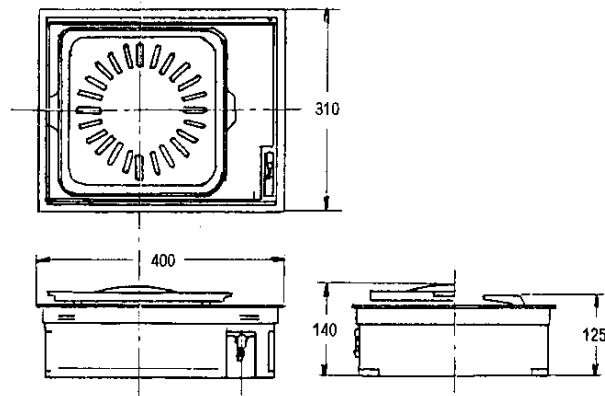
木ネジ
(4ヶ)

●構 造



各部の名称・仕様 ②

●外形寸法図



●仕様一覧表

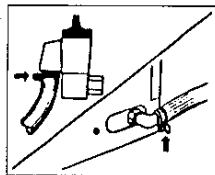
品 名	シェ・テーブル用コンロユニット	
形 式 名	12-625型	
使用ガスおよび使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量	
L P ガス 用	0.175kg/h	
都市ガス用	13A	2150kcal/h
	6C	2150kcal/h
	6A	2150kcal/h
点 火 方 式	圧電点火 (蒸こぼれ消火センサー付)	
器具の外形寸法(高さ×幅×奥行)	140×400×310	
重 量	8.2kg	
ガ ス 接 続	内径9.5mmガス用ゴム管	

器具の設置と使用手順

ゴム管の接続

- ゴム管は赤線までさしこんでしっかりとめてください。

9.5mmφ(内径9.5mm)のゴム管を使用し、お部屋の元栓、器具のホースエンドともゴム管口の赤線まで十分さしこんで、ゴム管止めてしっかり止めてください。

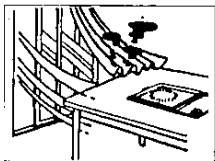


- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじたりしないように、できるだけ短くしてご使用ください。ゴム管を長くしますと足に引っかかりたりして、たいへん危険です。また器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにしてご使用ください。



- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶん離してください。

器具を窓ざわりにおくと、長いカーテンを使っている場合、風に吹かれたときにからみつき、火事の危険があります。



- ゴム管は良質のものを用い、ときどきとりかえてください。

ゴム管が古くなりますと、元栓や器具のホースエンド口から、抜けやすくなったり、ヒビ割れして、ガスもれの原因になり危険です。(おとりかえの目安は約3年です)

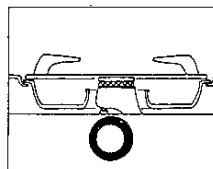


器具の設置と使用手順 ②

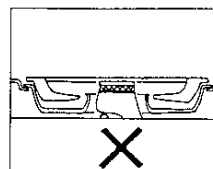
はじめてお使いのとき

- ・ はじめてお使いになるときは、プレートに2~3回油をなじませてからご使用ください。
- 鍋をお使いになるときはごとのつめが上に出ているか確認してからご使用ください。
(つめを下にしたまま使用しますと、不完全燃焼や火災の原因にもなりますのでご注意ください)
- 鍋をお使いになるときは30cm以下の鍋をご使用ください。

よい例



悪い例



点火前の準備と確認

- 器具栓つまみを「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元栓を全開にしてください。
- ・ ジンギス汗プレートをお使いになるときは必ず水入れ皿に水(1000cc)を入れてご使用ください。後のお手入れがかんたんです。

点 火

- 器具栓つまみを「止」から「開」に「カチッ」と音のするまでゆっくり回し、バーナーに着火したことを確認してから手をはなしてください。
- はじめて点火するときは配管中(ゴム管内)に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。
- 点火の際は、バーナー全部の炎口に点火したことを確かめてください。

火力調整・消火

- 通常使用状態では器具栓つまみは全開でお使いいただけますが必要に応じて器具栓つまみを回し適当なほのおに調節してください。
- 器具栓つまみを「右」の方へ止まるまでまわすと消火します。
- 使用中、消火直後は器具の温度が高く、やけどのおそれがありますので、手を触れたり、移動させたりしないでください。
また器具の熱いうちにテーブルのフタをしないでください。
・テーブルのフタが歪んだり焼けたりして火災の原因となります。



煮こぼれ消火センサーについて

- 煮こぼれ消火センサーは煮こぼれや風などで火が消えたときにガスを自動的に止める装置です。
- 煮こぼれ消火センサーは点火時に数秒押し続ける必要のないウィックセッター方式です。

煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法

- 使用中にバーナーが消火したときは、すぐに点火つまみを「止」の位置にもどし、お部屋のガス元栓も「止」の位置にもどし6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」及び次の方法により処置してください。

処置方法

- バーナーの火が消えたときは煮こぼれ消火センサーが働いて自動的にガスが止まりますが完全に止まるまでに少し時間がかかります（30秒～1分間程度）バーナーの消火に気づいたときは、すぐに点火つまみを「止」の状態にしてください。
- 再点火される場合は周囲にガスがなくなるまでしばらく（数分）待つてから「使用手順」に従って点火してください。

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、後記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、器具が冷えてからおこなってください。



日常の点検・手入れ

点検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- ・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具のホースエンドおよびガス元栓ともゴム管口の赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
- ・ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ・ゴム管が古くなってひび割れしたり、ゴム管口がゆるんでいるためガスがもれていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- ・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいてはいませんか。
- ・ジンギス汗プレートまたはごとくが正しくセットされていますか。
- ・バーナーの炎孔が目づまりを、おこしていませんか。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのち、ほこりなどの異物が入らないようにテーブルにフタをし、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ゴム管口など）にほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

日常の点検・手入れ ②

お手入れ

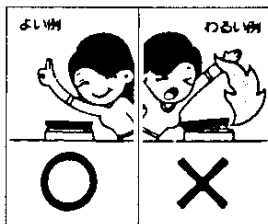
そ の つ ど

- 水入れ皿・天板
・そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。汚れがひどいときは洗剤をふくませたナイロンタワシで洗ってください。
- 器体
・煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとってください。なおとれにくいときは、中性洗剤を布にふくませて汚れを落としてください。
- ジンギス汗プレート・ごとく
・ジンギス汗プレート・ごとくは鋳物ですので、中性洗剤で水洗いしてください。
・汚れていますと、その汚れがすすがもえて煙になりますので必ず掃除をしてください。汚れの落ちにくいときは、中性洗剤のぬるま湯にしばらくつけてから洗ってください。

いずれの場合もお手入れ後は乾いた布で充分に水気をふきとってください。

と ね ぶ ね

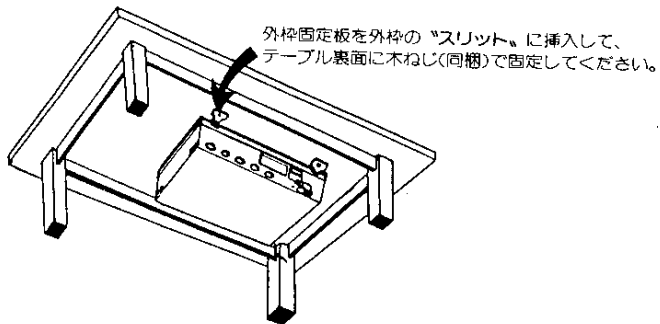
- バーナートップ
・バーナートップは水洗いをしないで硬いブラシで汚れを落としてから細い針金またはギリなどで炎口の掃除をしてください。バーナートップを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。
・混合管の水洗いはやめてください。中がさびる原因になります。
・バーナートップは正しくセットしてください。
・煮こぼれ消火センサーは硬いブラシなどでみがかないでください。故障の原因になります。また煮こぼれなどはすぐふき取るように習慣づけてください。性能が十分発揮できないだけでなく、寿命も縮めます。
・点火操作の火花の出る部分はさわらないでください。取り付け位置が狂いますと点火しなくなります。



日常の点検・手入れ ③

- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

● テーブル裏面

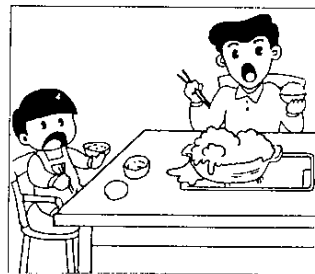


〈テーブルを裏返す場合のご注意〉

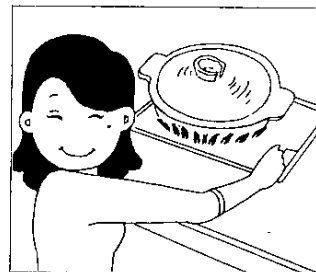
- ・コンロの部品(手で脱れるもの)は取りのぞいてから裏返してください。部品がテーブルに当たって「キズ」になります。
- ・段ボール紙または毛布を敷いてなるべく2名以上で裏返してください。テーブルエッジならびに表面は固いものに当たると「キズ」となります。

使用時のご注意

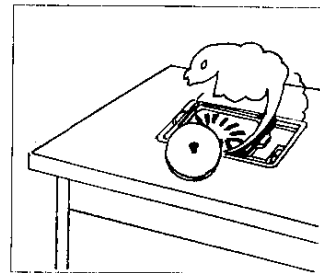
- 煮こぼれはバーナーや器具を早くいためますのでご注意ください。(一度煮たら、沸騰がつづく程度の火力にしてください)
煮こぼれしたときは、必ず完全にふきとってください。
煮こぼれで炎口がつかると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあります。



- 点火の際は、こんろになべやジンギス汗プレートをして点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。



- ジンギス汗プレート使用中排気口のところに物をあてないでください。テーブル表面を損傷することになります。



- 炎の形や色の変化に気をつけてください。炎が異常に大きかったり、ふぞろいで音をたてたりすることがないようによく見てご使用ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品名……(シェ・テーブル用コンロユニット)
- (2) 品番……左側面に張ってあります。(例)
- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)

(4)12-625(U)

大阪ガス住宅設備株式会社 **02**

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

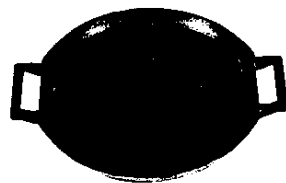
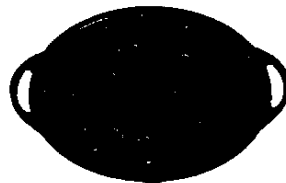
保証書について

- この器具には保証書がついています。このシェ・テーブル用コンロユニットは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

別売部品のご紹介

たこ焼プレート
17-050 ¥1800

鉄板焼用プレート
17-051 ¥2600



メ モ

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元栓を閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。